



————— 主な内容 —————

- みんなで取り組む課題……………2
- 執行委員長・新年のごあいさつ……………3
- 巳年生まれの間からひとこと…… 4～6
- 南地区労定期大会、まちがいさがし……………7
- 京都の催事案内・青谷梅林梅まつり……………8
- 行楽・島原角屋と梅小路公園……………9
- 編集後記、まちがいさがしこたえ……………10

発行所

全日本建設交運一般労働組合 (建交労)
京都 事業団・高齢者部会
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp
発行日 毎月15日 一部30円
No.346 (2025年) 1月号



新年あけましておめでとう
ございます。

絵の中に思いをたくさん
詰めて、との考えで、仲間
の方々と勉強していこうと
思っています。

お互いに健やかな年にな
りますように祈ります。

(上林さんブログより)

近くの里山で 上林常哲

みんなでき取り組む課題

新年度の第2回支部執行委員会は12月20日に、14人の出席で行い、以下のとおり報告・討議しました。

1. 職場のこと、仲間のこと

- ワークセンター…10月より新規事業立ち上げた。南部クリーンセンターで剪定枝等の引取額が1.5倍へ。
- 公園トイレ・忘年会を行ったが、作業場所と作業量の増大、人員不足で長時間作業の日も多く、丁寧に仕事し過ぎか、との意見も。

2. この間の取り組みの振り返り

- ① 京都高運連の自治体要求懇談会。
- 京都府交渉（11月21日）、京都市交渉（12月11日）。
- ② 日本高齢者大会（11月22～23日）松永委員長参加。
- 3. 各分会の取り組み
 - ① ソーシャルサービス京都事業所
 - 年末一時金が妥結。
 - ② 宇治分会
 - 宇城久地区労への加盟に向けて交渉・調整中。

4. 新春旗びらきの詳細

- ① 参加目標や来賓招請などの報告
- 各執行委員に参加の呼びかけをお願いした。

② 当日の段取りと役割分担の取り決め

5. 今後の取り組み、ほか

- ① 「春闘アンケート」「職場アンケート」
- 12月号で配布、1月中旬ぐらいに集約をめざす。
- ② 建交労京都府本部・第30回府本部委員会
- 1月19日(日)10時～12時、高齢者会館にて。
- 春闘方針の決定の予定。
- 支部代議員4名の選出。
- ③ その他
 - 本誌『仲間』寄贈先を整理し、郵送の取りやめ、または配布部数の減を実施した。

※次回執行委員会は、1月15日(水)午後1時30分。30分早めに開催し、約1時間ですべてを終えた後、旗びらきの準備。

先月配布「アンケート」へのご協力のおかげ

先月に同封しました「事業団で働くみんなのアンケート」「職場アンケート」は、もうお済みでしょうか。まだの方は、ぜひお書き添えて、今月中にご返信くださいますよう、お願い申し上げます。



また、ロシアによるウクライナへの戦争、イスラエルによるハマスの報復攻撃、米中の対立など、緊張した国際情勢が続いています。こうした中で政府は、日米同盟の強化をうたい、5年間で43兆円の軍事費を計上、危険な軍備拡大の道に突き進んでいます。

建交労京都支部の組合員のみならず、あけましておめでとうございませう。本年もよろしく願います。今年も穏やかな年明けとなり、なによりと喜んでいきます。

昨年、年明けから能登半島での震災、羽田空港での航空機事故、その後も豪雨災害、犯罪の多発など続きました。



新年のごあいさつ

建交労京都支部

執行委員長 松永雅明



くらしと経済では、低金利、円安政策を続け、一部大企業には富をもたらしますが、異常な円安による物価高騰は、中小企業の経営、国民生活に否定的影響を広げています。

昨年10月の総選挙では、裏金問題で政治不信が広がり、また物価高騰への無策で国民の批判が広がり、与党を過半数割れに追い込みました。

今年、新しい政治情勢をいかし、外交努力による平和の構築、経済とくらしの向上で、前進に転ずる年となるように力を合わせましょう。

最後に、組合員のみなさんとご家族のみなさんにとって、よき一年になりますように祈念して、新年のあいさつとします。

税の学習会（確定申告） 秘密厳守

●2月14日(金) 午後2時～

●京都高齢者会館3階・会議室（組合事務所横）

※相談を希望される方は、時間調整のため、事前にご連絡ください。

★学習会の日に参加できない方には、前もって組合事務所でご相談内容を伺い、当日に代わってお問い合わせして、後日にご返事します。

建交労京都支部事務所（電話 691-1007番 月・水・木・金）

巳年生まれの仲間からひとこと

近況や今年の抱負をお寄せいただきました（掲載は五十音順）

尾崎 雄一郎 さん

誕生日 昭和16年5月29日

所属 京都高齢者福祉事業団

現場 田中宮市宮住宅

7棟、カート17個、駐車場3カ所、外回り、トイレほかの清掃。週に3日、2人して働いています。

日常の生活は朝4時ごろに起きて、足腰の体操をして、新聞3部に目を通してから出発します。家庭ごみ、パッキンケース、資源ごみ、ペットボトル、アルミ缶の多さにはびっくりしております。また北隣にある公園の落ち葉も、風によって入ってきます。大変です。自分の家との思いで、きれいにして帰っています。毎日健康のためになっています。今年も変わらず、元気で働けるよう願っております。

小崎 敏郎 さん

誕生日 昭和28年2月27日

所属 ソーシャルワークセンター

現場 清掃班

年数 6年目

2018年11月15日より勤務。最初は前職の運送会社との掛け持ちで週2日、鴨川6区の清掃の仕事でした。2019年8月より専業となり、草刈りや家財処分なども行うようになりました。鴨川・宇治川などは、基本2人での作業となり、処分・草刈は、5〜6人の作業となります。基本屋外ですので、寒暖に耐えながらの作業になります。何とか大きな怪我もせずに、先輩の皆様へ指導を受けながら、和気あいあいとしたなかで楽しく働かせてもらっています。

先輩の皆様も数人退職され、古株の部類になりましたが、今後の課題として、人手不足の解消や、個々の働き方の要求と現行の仕事の内容が、何処まで合わすことができるのか、個々の要求が職場で理解されるのが、政府の働き方改革で、65歳から70歳以降の方からの、採用が増える中、高齢者の仕事の内容が課題になるのではないかと思います。

徳 永 紘 佑 さん

誕生日 昭和16年1月19日

所属 京都高齢者福祉事業団

現場 向島ニュータウン

65歳で事業団のお世話になり、一旦75歳定年で離れたが、すぐに呼び戻されて現在に至るので、19年間勤務です。思えば今年7度目の巳年で、84歳になります。そろそろお荷物になる前に身を引くべき時期か？太平洋戦争の始まる10カ月前に生まれました。3歳の時、父の仕事関係で満州に渡りました。戦争は負け、

ソヴイェト軍が侵攻してきて父は兵隊に召集され、母は生まれて間もない妹を抱き、背中には大きなリュックを背負って大勢の人と汽車に乗り、辛酸をなめながらも幸い今日に至りました。当時のことは映画や小説で描かれています。先日、テレビのニュースでロシア軍がウクライナに侵攻して逃げまどう子供の姿を見て、80年前がフラッシュバックしました。中国も近頃日本周辺で怪しい動きをしていますし、ロシアも北方でこれまた厚かましい行動をしています。今の平和が永遠に守られるように、老いの杞憂でありますように。

中野年信さん

誕生日 昭和28年12月26日

所属 京都市高齢者福祉事業団

現場 緑化土木

年末のある日、事業団から封筒が届いた。いつもの会報かと思いきや、原稿依頼とは少し驚いた。物書きなど近年久しく、若年時は幾度かした

が、果たしてどのように文章を進めてよいものか悩んでしまう……。一時は辞退させてもらおうかと考えた。

しかしながら事業団事務局の方々の日頃のご努力を想うとき、こんな私でも微力ながら協力しないといけない気になり、拙いながらも会報の片隅に投稿させていただきます。

令和6年12月26日で満71歳になる私ですが、事業団で働かせてもらって3年目のこの時期、入団時から今までを思い返すにあたり、月日の経過の早かったこと。屋外の仕事は現役時の営業回り程度、それも車の移動で、夏場の炎天下の除草作業などは、ほとんど経験が皆無。初めの年はつらい思いをしました。同じ炎天下でも、遊びの時のアウトドア・ライフは自分は好きなので、つらく感じることはそうなかった。人間身勝手なもので、強制的なことは誠にしんどい思いになるもの。自分はまだまだ体力的な自信はあったが、今の仕事をし始めて年齢と体力の衰えを思

い知らされました。

しかし先輩方々の元気さを見ると、このような弱音を言っては情けなく思う……。また仕事場の皆様が気さくで、親しみやすいことに楽しく思い、幸せを感じながら仕事が出てくることを感謝している。いつまで続けられるかは分らないが、来年は忙しい時は気を張って、そうでない時は、それなりに頑張っていきたいと思えます。

大事なのは病気や怪我をしないように無理をせず、そして仕事を楽しく……。そんな綺麗ごとみたいなことはできないであろうが、ぼちぼちやるということで来年の抱負にします。最後に、健康で今の仕事をさせてもらっていることに感謝。この思いは本音です。

鳴田洋子さん

誕生日 昭和16年10月24日

所属 京都市高齢者福祉事業団

現場 かもがわ出版・味京

事業団に勤めて16年になります。

現場では、社員の皆さんに親切に接していただき、気持ちよく楽しくお仕事をしています。また認定がなくなってお友達と会えなくなったので、毎月1回集まってお話したり、たまにはお食事に行つて楽しんでいきます。83歳にもなつてお仕事ができ、お友達と楽しくお話ができるのは事業団のおかげと、嬉しく思っています。今年も皆さんとともに、今日一日を大切にして、身体の続く限り頑張りたいと思っています。



西尾 誠一
さん

誕生日 昭和16年5月16日

所属 京都市高齢者福祉事業団

現場 八坂神社

12年余り、あつという間に過ぎました。祇園さんの神様たちの八坂神社で、何とか今日まで元気でお仕事させていただけなのは、上司をはじめ先輩や仲間の皆様、それに女房の

おかげと感謝しています。仕事の前日は必ず睡眠を十分にとり、身体には気を付けていたので、今日まで元気で来られたと思っています。

昨年、休日は趣味のカラオケや健康マージャンとハイキングを楽しんでいました。本年は沖繩に住んでいる孫が、大学と高等学校に進学する予定です。無事入学を楽しみにしています。多分お祝いを期待していると思うので、もう少しだけ頑張つてお仕事をさせていただきます。

宮島 靖子 さん

誕生日 昭和28年8月24日

所属 京都市高齢者福祉事業団

現場 知恩院

事業団に入職して3年3カ月になりました。現場は知恩院で今年4年目になります。令和6年で法然上人開宗850年になられたそうです。作業中にはお経や法話が聞こえる日が多くあります。そして線香の香りも常に匂ってきます。以前はお寺さ

んのことに何の興味もなく、私の生活の中で幼少の時から両親がしていることを真似ている程度でした。お寺さんで仕事をさせていただくようになり、自分が変わってきたように感じます。何が、と言われたら詳しく分らないけれど、考え方も知れません。温かさが持てるようになったと思います。仏教で慈悲の心と言われています。いつの日か、そんなことを思うようになっていました。

日常生活では以前から続けているプリザーブド・フラワーアレンジメントや、レジン製の作製を、無心でアレンジできる時間を楽しみ、今以上に綺麗素敵な作品ができる嬉しく思います。

また近年から看護学校時代の仲間数人とお嬢会を立ち上げ、若い時の会話を笑いながら楽しい時間が増える1年になりますように、と思っています。そして家族が健康で過ごせる1年また次年も、元気で明るく過ごせるようにと思っています。

南地区労が定期大会を開く

京都支部副執行委員長 山内 登さん

第29回南地区労定期大会は、12月19日18時30分より京都テルサで開催されました。出席組合員は12名、委任状4名で大会の成立していることが報告され、来賓の京都総評副議長山本さんの挨拶から始まりました。

活動報告は中井事務局長が行い、現在13の労働組合が南地区労に結集しているが、20年前より半数以下の組織率になっている、新規加盟が大きな課題となっていること、文化リレーション活動も、今期は活発に行っていきたい、などの報告がありました。



中井慎二事務局長

発言は4組合からあり、民医労洛南支部の看護師さんは「介護労働者は全賃金平均より10万

円低いといわれていますが、看護師の場合は夜勤に入ってやると全賃金平均になっている。国は診療報酬にベースアップ評価料を実施しているが、賃金が不安定で、内部格差を起すもとになっている」との報告。

その他、JMITUカシフジ支部や市職労南支部、ユニオン南の風より発言がありました。

私たちは地区労の活動に中々参加できていませんが、定期大会のだけの参加でなく、日常的な地区労活動に参加をしていく必要を感じた定期大会でした。

選出された地区労幹事は次の通り。地区労議長・北村邦俊（JMITUクボテック支部）、副議長・藤井正史（民医労洛南支部）、事務局長・中井慎二（ユニオン南の風）、事務局次長・和田篤史（市職労南支部）。

1月のまちがいさがし 茶の間のお正月

2つの絵で違いが7カ所あります。

(答えは10ページ)





京都の催事案内

有料行事を含む、イベント予定を拾ってみました。主催者の都合や天候等で、中止の場合があります。

- 1月25日(土) 雪灯廊／南丹市・美山かやぶきの里
- 1月28日(火) サウザンドマーケット／清水寺境内
- 1月29日(水) 漢字で感じる色めぐり／漢字ミュージアム
- 2月1日(土) 節分祭／吉田神社・八坂神社ほか
- 2月2日(日) 鍋フェスタ／笠置町・笠置こいの館
- 2月2日(日) 追儺式鬼法楽／廬山寺(寺町広小路上ル)
- 2月2日(日) 湯立神事／石清水八幡宮
- 2月6日(木) 京都国際学生映画祭／京都文化博物館
- 2月7日(金) 京都日本画新展／京都駅「美術館えき」
- 2月8日(土) K展(社会連携展)／みやこめっせ
- 2月8日(土) 京菓子・京のええもん市／みやこめっせ
- 2月8日(土) 針供養／法輪寺(西京区嵐山)
- 2月11日(火) 甘酒祭／梅宮大社
- 2月11日(火) 氏子餅つき祭／下御霊神社(寺町丸太町)
- 2月16日(日) 京都マラソン／西京極総合運動公園
- 2月22日(土) 京の郷土芸能の集い／ロームシアター京都
- 2月22日(土) 青谷梅林梅まつり／城陽市・山城青谷
- 2月23日(日) 宇治川マラソン／山城総合運動公園
- 2月25日(火) 梅花祭／北野天満宮

きさらぎ

如月のあれこれ Ⅱ 観梅Ⅱ

花見は混雑甚だしい桜より、私は梅や桃が好きでした。梅は商品作物ですから、農家の迷惑にならぬ所に腰を下ろし、花を愛でながら、保温水筒に入れてきた熱燗を呑むのは、実に落ち着いて、気持ちの良いものです。こういう所に、外国人観光客の集団に来てほしくないなあ。

青谷梅林梅まつり「春は城陽から」

青谷梅林は、城陽市南東部の丘陵地約20町歩に1万本の城州白という品種を中心に栽培されています。果実は香りが高く、主に梅酒や和菓子の原料になるとのこと。毎年、梅の開花時期に「梅まつり」と称して、梅畑が一般公開されます。今年は2月22日から3月9日まで予定されており、梅を使った特産品などが販売されます。会場は梅林の手前の中天満神社。梅林の中にも飲食の露店やイベント会場があった。この辺りはJR奈良線の山城青谷駅から歩ける距離で、中天満神社まで15分ほど、そこから梅林入口まで10分ほど、狭い道を車で行くよりも、電車利用の方が色々とストレスがない。私が訪れた時、梅林の東側は大規模な砂利の採石場になっていて、その大きな窪地と重機が梅林から見えた。地肌むき出しの荒涼とした風景とのギャップに驚いた。今は建設残土などで埋め戻しているらしいが。(山川)



島原角屋

角屋もてなしの文化美術館」を開設、建物に指定されました。平成元年には「財団法人角屋保存会」と1万点に及ぶ所蔵美術品などを、展示・公開しています（ちなみに3月14日まで休館、15日から「春季企画展示」です）。

角屋を出て西に進むとJR嵯峨野線と七条通です。信号を渡り、目の前が

行楽

見物とジョギング

島原「角屋」から梅小路公園

建交労京都支部OB 中村 崇さん

今回は市内を少し歩きました。市バス18号で「島原口」へ。花屋町通（以前は賑やかだった島原商店街）を西に進み、突き当りに「島原大門」。そこをくぐり石畳の通りを進むと「角屋」。寛永18年から続く揚屋（今でいう料亭、江戸期京都では民間最大規模の宴会場）です。遊宴のみならず、和歌、俳諧の文芸やお茶の席があり、文化サロンの役割を果たしていました。また揚屋建築の唯一の遺構として、昭和27年に重要文化財に指定。所蔵美術品では、蕪村筆「紅白梅図屏風」が重要文化財に指定されました。平成元年には「財団法人角屋保存会」



島原大門



梅小路公園朱雀の庭

「梅小路公園」の入口。ぶらぶら歩く右手に日本最大級の「京都鉄道博物館」の案内板がありますが、今回は素通りして、有料施設の日本庭園「朱雀の庭」や「いのちの森」に入りました。朱雀の庭は、9千平米の池泉回遊式庭園で、中央の池の周囲には築山や滝、花床などが配置され、歩き進むにつれ変化する情景に癒しを感じるもので、市民の憩いの場となっていると聞くといいです。

庭園を出て梅小路公園へ。ここは仁安元年（1166年）頃、平安時代後期に平清盛が平安京の八条壬生に構えた広大な邸宅として造営された地で、西八条第は八条亭とも呼ばれた所です。緑と花で憩える空間として、また災害時には市民が避難できる場所として平成7年から開園している面積約13・7畝の都市公園です。

公園内には広い「芝生広場」、水と親しめる「河原遊び場」、賑わいのあるイベントが開催される「七条入口広場」、ジョギングコースもあり、以前に紹介した、京都市電として初めて導入された「チンチン電車」が走り、公園の反対側に「京都水族館」もあり、子ども連れの若い夫婦が多くみられました。軽くジョギングして帰路につきました。



梅小路公園緑の館

編 後 集 記

皆様、明けましておめでとうございます。日頃の労働組合活動に対するご支援に感謝申し上げますとともに、今年が皆様にとって実り多き一年となりますようお祈り申し上げます。

▼恒例の年男・年女のコーナーには、7人の方からご投稿をいただきました。お忙しい中、大変ありがとうございました。

2025年はどんな年

今年、広島と長崎への原爆投下、そして第二次世界大戦終結から80年目になります。▼昨年、被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞して、核兵器のない世界の実現に向けた市民運動に改めて焦点が当たり、国連総会で採択された核兵器禁止条約に対する日本政府の対応が問われています。▼また4月には大阪・関西万博が開幕し

ますが、私にはいまだに中身がよく分かってない。入場券が6千円とか7千五百円らしいので、多分行かへんやろうなあ。▼2024年問題はトラックドライバーの残業規制でしたが、2025年問題とは「団塊の世代」が全員75歳以上になり、今年、国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会が到来します。▼医療や介護の体制をどのように拡大していくか、少子化と労働力人口の減少にどう対処していくか、政府や自治体のかじ取りにますます目が離せない今年の政治情勢です。

(や)



まちがいさがしのこたえ